

様式第2号 (第3条関係)

行政視察等報告書

令和7年1月22日

米子市議会議長様

(会派の場合)

会派名 蒼生会

代表者氏名 稲 田 清

提出者氏名 塚 田 佳 充

(議員の場合)

議員名

種
(印)
(印)
田

(印)

下記のとおり報告します。

記

[illegible]

(注) 氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

別 紙

東京都荒川区

- 1 視察日時 令和7年1月8日 午後1時30分から午後3時20分まで
- 2 視察先 東京都荒川区
- 3 視察項目 「ゆいの森あらかわ」について
- 4 荒川区について 人口 約21万人（米子市の約1.4倍）
面積 約10平方キロメートル（米子市の1割以下）
- 5 施設概要
敷地面積 約4,100㎡
延床面積 約10,900㎡
階数 地上5階、地下1階
開館 平成29年3月26日
開館時間 9時から20時30分まで
休館日 毎月第3木曜日、特別整理期間・年末年始等

融合施設

荒川区立中央図書館

開架 30万冊規模

閉架 30万冊規模

座席 900席以上

えほん館

3万冊絵本蔵書規模

子どもの遊び場と連結

ゆいの森ホール

使用していないときは閲覧席として利用可

ゆいの森子どもひろば

乳幼児一時預かりサービス併設

学びラウンジ

主な講座：星空教室、ワークショップ、デジタル創作体験等

吉村昭記念文学館

6 事業概要

荒川区立ゆいの森あらかわは、これまでにない新しい施設として、図書館・吉村昭記念文学館・ゆいの森子どもひろばの3つの機能を融合させた施設として、平成29年3月に

開館した。荒川区では、平成17年に「これからの図書館調査懇談会」を開始、翌年の平成18年に「子育て支援部」設置、同年に吉村昭氏逝去に伴い、文学館のあり方に関する懇談会を開始、平成19年には（仮称）吉村昭記念文学館基本構想委員会を設置、平成21年には用地取得、平成22年には複合施設の設置及び運営に関する懇談会報告書が提出され、平成23年に（仮称）荒川二丁目複合施設基本計画を策定、平成26年に実施設計完了、建築工事着工、平成27年に愛称名決定、平成29年1月に建築工事竣工、3月に開館された。

7 視察内容

「ゆいの森あらかわ」では、地域コミュニティの拠点という考えから会話OKとし、静寂の空間を求める方は学習室を利用する形式をとっていた。また、カフェを併設し、カフェ内では貸出前の図書の閲覧が可能であったり、図書館内においても飲食可のスペースがあり長時間の滞在が可能となっていた。さらには、施設として防災拠点の機能を有しており、免震構造はもちろんのこと、発電機や蓄電池の設置、乳幼児や妊産婦を中心とした避難所としての機能や備蓄品も有し、広場にはマンホールトイレと防火水槽も整備されていた。

建設にあたっては、設置された懇談会において図書館で実施していた柳田邦男絵本大賞で繋がりがあった作家の柳田邦男氏に座長を依頼され、吉村昭記念館文学館推進委員会委員長の山崎知事長ほか、大学教授2名、学識経験者4名、区議会議員8名、地域関係者6名、副区長2名を含む区職員3名の計21名で議論を重ねてこられ、進捗状況は議会へ対しても委員会において適宜報告されてこられていた。

障がい者対応においては、録音図書、点字図書サービスのほか、対面音訳サービスや宅配・郵送サービスも提供しておられた。

8 所感・考察

荒川区では土地が少ないことから、当初、用地選定に苦慮されたそうだが、用地の目処がたつてからは中央図書館機能を中心にコミュニティの場となるよう、単なる多機能の融合施設としてのみではなく、利用者目線からの導線や使い方から各施設や機能の設置場所や建物内部の構造を工夫されていた。実際に視察に訪れた際は、平日午後にも関わらず、館内は大人や乳幼児の子連れの親子のみならず、学校が終了し帰宅前の小中学生や高校生、春休み中の大学生で大変賑わっており、担当者の話では、平日の学校が終わる時間や土日はこのように賑わっているとの事であった。

米子市内では、図書館は1つのみでこちらは一部スペースや時間、イベント時を除き私語厳禁、飲食禁止などいわゆる従来の図書館として様々な制限がある。一方で、児童文化センターの図書室では絵本が中心の蔵書があり、親子連れで室内で話しながらの利用が可能となっている。今回の荒川区の施設のように、時代は図書館単体のみならず、新たなコミュニティ施設を求めており、その有用性については非常に勉強になった。米子市においても多世代から求められるような荒川区の様な施設設置に向け、引き続き会派から提言していきたいと強く思う視察であった。

勉強会（国土交通省、内閣府、農林水産省）

1 日時 令和7年1月23日 午前10時から午後0時10分まで

2 場所 衆議院第二会館918号室

3 説明担当者

国土交通省道路局企画課道路経済調査室 課長補佐 原田駿平 氏

国土交通省住宅局市街地建築課市街地住宅整備室 課長補佐 須藤謙介 氏

国土交通省鉄道局幹線鉄道課 課長補佐（総括） 石川雄基 氏

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（避難生活担当）付 前原溪佑 氏

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官補佐（避難所担当） 末崎浩一郎 氏

内閣府 政策統括官（防災担当）付 企画官（避難生活担当） 原誠史 氏

農林水産省農村振興局整備部防災課災害対策室 災害班課長補佐 倉田進 氏

4 概要

国土交通省

- ・高規格幹線道路（米子道の米子ー境港間の今後の展望）について
- ・中海宍道湖圏域の道路ネットワークの必要性について
- ・整備新幹線（伯備新幹線の可能性）について
- ・一時避難所整備緊急促進事業について

内閣府

- ・避難所の環境整備（トイレ）について

農林水産省

- ・農地農業用地施設等の災害復興事業について

5 所感

各事業の担当者様よりそれぞれの事業について説明を伺った。交通網に係る事項については、現在、国で取り組んでいることの説明があり、米子市の議連の取り組みや地域の課題等についても共有させていただき活発に意見交換を行う事が出来た。災害対応に係る事業については、国県の補助メニューについての説明等もあり、有意義な勉強会となった。災害時に必須となる道路交通網、災害復旧時の経済加速に役立つ新幹線網、避難生活時のトイレ環境の整備、農地等の災害復興について、今回の勉強会を最大限に活用し、今後の米子市におけるそれぞれの課題について引き続き提案していきたい。

千葉県松戸市

1 視察日時 令和7年1月10日 午前10時から午前11時30分まで

2 視察先 松戸市

3 視察項目 「こども誰でも通園制度」について

4 千葉県松戸市について

令和2年度調査時人口 498,232人 令和6年度ついに50万人を突破した。

面積 61.38平方キロメートル

東京に隣接していてベッドタウンとなっている。東京ドーム21個分の森と広場がある。

特産は、やぎりネギと20世紀梨。共働きランキング全国3位。

5 事業概要

市独自で、令和4年度に未就園児に向けた取り組みとして「未就園児世帯の実態調査約6,000通の調査」

令和5年度に(1)マイ・サポート・スペース(育児相談支援事業)、(2)まつどり・baby・ヘルパー(世帯訪問家事支援事業)、国との取り組みで(3)保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業実施。

令和6年度には令和5年度に取り組んだ物を一本化し国との取り組みで、こども誰でも通園制度の試行的事業を実施した。

6 視察内容

子ども部保育課長秋谷さまより、冒頭にどこでも一緒に悩みとして保育士の人手不足があり、東京都が保育士に対して一律4万円の手当を付けたために、一時期松戸市から保育士がいなくなるかと思うぐらい人手不足となった。そこで、松戸市も新たに松戸手当4万5千円から7万円給付する施策を打ち出し今は、人手不足も解消したと説明いただいた。こども誰でも通園制度については、「家庭にいる子ども達も救いたい」を一心に新たな施策を考えることになった。初めに生の声を聞く為に「未就園児世帯の実態調査約6,000通の調査」を開始し、約1,500通が返ってきた。その調査結果の中の約7割が子育てにストレスを感じており、ストレスについては、「自分の時間がない」「睡眠不足」「子どもの育ちに関すること」などが多かった。また、「週1回でも自分だけの時間が持てればストレスが減る」との声や、「家事・育児を助けてほしい」とする一定のニーズがあることが分かった為、令和5年度に(1)マイ・サポート・スペース(育児相談支援事業)身近に相談したり利用できる場所として保護者が登録した地域子育て支援拠点。登録により、保護者とつながりを持ち遊び場提供と育児相談を担う事業、(2)まつどり・baby・ヘルパー(世帯訪問家事支援事業)家事育児に不安を抱える妊婦又は、保育サービスを受けていない2歳未満の子どものいる家庭への訪問家事育児支援サービス、国との取り組みで(3)保育所の空き定員等を活用した未就園児の定期的な預かりモデル事業。保護者の

育児負担軽減を図るため、面談を実施の上、必要と認められた場合に週1～2回の定期的な一時預かり保育を実施し、本格運用に向けて国との協議を深めた。

令和6年度より、国との取り組みでこども誰でも通園制度の試行的事業実施し、保護者のストレスを少しでも解消できるよう日々努めている。ちなみに9年連続待機児童0を継続している。岸田文雄前総理が新松戸南部保育所を訪れこの制度について視察されたとも説明いただいた。

7 所感

現在本市においても、人口減少・少子高齢化が進み子育て施策強化は最重要課題である。今後本市も待機児童0を目指すと共に、保育士の処遇改善を図りながら全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備する事が求められている。子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形の支援を強化するため、幼児教育・保育給付に加え、月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる新たな通園給付を実施する必要があると分かったことと、松戸市担当課の皆さんの「保護者に少しでも寄り添いたい、待機児童0を目指すのではなく、0にする」といった熱く強い想いが伝わってきた。今回の視察は大変有意義なものであった。

行政視察行程（会派：蒼生会5名）

月 日	行 程	宿泊先等
1/8 (水)	8:55 10:10 10:41 10:58 11:17 11:36 13:10 13:30 米子空港====羽田空港=====品川駅=====日暮里駅（昼食）====「ゆいの森あらかわ」 ANA384 京急空港線快特（京成高砂行） JR 上野東京ライン（土浦行） 荒川区送迎	（昼食） 日暮里駅周辺
	荒川区行政視察 午後1:30～午後3:00 【議会事務局：川上様】 ☎(03) 3802-4991 【場 所】 荒川区役所（東京都荒川区荒川2丁目2-3） 【待ち合わせ】 13:10 日暮里駅 北改札口を出た所 【調査項目】 「ゆいの森あらかわ」について（現地視察あり）	【ホテル】 アパホテルブライド＜国会議事堂前＞ 千代田区永田町2丁目10-2 TEL.0570-057-711 ※現地払い（12万円）
	15:00 15:20 15:24 15:44 15:46 15:51 「ゆいの森あらかわ」====町屋駅=====国会議事堂前駅……ホテル 荒川区送迎 東京M千代田線（代々木上原行） 徒歩5分	
1/9 (木)	8:40 8:45 8:48 8:49 8:53 8:55 ホテル……国会議事堂前駅=====霞が関駅……国土交通省（総務省） 徒歩5分 東京M丸ノ内線 徒歩2分	（昼食） 中央省庁近隣
	国土交通省及び総務省訪問 午前9:30ごろ～午後5:00ごろ（終日） 【場 所】 国土交通省（東京都千代田区霞が関2-1-3）ほか 【聴取項目】 「整備新幹線（伯備新幹線の可能性）」など合計5項目	【ホテル】 アパホテルブライド＜国会議事堂前＞ ※連泊
	17:31 17:33 17:37 17:38 17:41 17:46 国土交通省（総務省）……霞が関駅=====国会議事堂前駅……ホテル 徒歩2分 東京M丸ノ内線 徒歩5分	
1/10 (金)	8:49 8:54 8:57 9:36 9:39 9:45 ホテル……国会議事堂前駅=====松戸駅……松戸市役所 徒歩5分 東京M千代田線（我孫子行） 徒歩6分	（昼食） 松戸市役所付近
	松戸市行政視察 午前10:00～午前11:30 【議会事務局：矢口様】 ☎(047) 366-7382 【場 所】 松戸市役所（千葉県松戸市根本387番地の5） 【待ち合わせ】 未定 【調査項目】 「こども誰でも通園制度」について	MAP 
	11:30 12:50 13:02 13:40 13:55 14:15 15:35 17:00 松戸市役所…（昼食）…松戸駅=====品川駅=====羽田空港=====米子空港 徒歩6分 JR常磐線（上野東京ライン・品川行） 京急本線特急 ANA385 便	

旅費計算表

令和7年1月8日 ～ 令和7年1月10日 (2泊3日)

月 日	区間	鉄道路線 名	区 間 キ ロ 数	目的地までの キ ロ 数	運 賃	グリーン	急 行 料 金			日 当 宿 泊 料		
							特 別	新 幹 線		議員1,500円	甲 14,800円	乙 13,300円
1/8	米子空港～羽田空港	ANA	776.0		27,150					随員1,100円	10,900円	9,800円
(水)	羽田空港～品川駅	京急	20.2		327					1,500	12,000	
	品川駅～日暮里駅	JR	8.4		208							
	(視察)											
	町屋駅～国会議事堂前駅	東京M	10.6		209							
1/9										1,500	12,000	
(木)	(視察)											
1/10	国会議事堂前駅～松戸駅	東京M	23.7		482							
(金)	(視察)									1,500		
	松戸駅～品川駅	JR	28.3		483							
	品川駅～羽田空港駅	京急	14.5		327							
	羽田空港～米子空港	ANA	776.0		※往復割引							
計	議員旅費			57,686	29,186	0	0	0		4,500	24,000	0
	随行旅費			0								

出席議員 奥岩議員、塚田議員、渡辺議員

議員旅費 57,686 × 3名 = 173,058 円

土産代 7か所 17,498 円

合計 190,556 円

キャンセル料 16,290 × 2名 = 32,580円

(稲田議員及び門脇議員不参加分)

総計 223,136円

東京都荒川区、千葉県松戸市、国土交通省及び総務省

蒼生会・会派行政視察